

令和6年2月1日

柳瀬川町内会会員各位

柳瀬川町内会
会長 竹前 栄二



ごみと資源の出し方について(再確認)

いつも「ごみ・資源回収」についてご協力くださり、ありがとうございます。市のルールにしたがって、当町内のごみ・資源回収が概ねスムーズに運営されていることに厚く御礼申し上げます。

ただ、回収業者さんの厚意に頼っている面がやや目についたり、志木市ルールに不慣れた新規転入者があつたりして、規律が乱れかけていないか、多少の不安を覚えることも事実です。ぜひ町内会会員各位がいま一度ルールを統一理解し、きれいで気持ち良い住環境を確保し続けられるようにしたいものです。

については今回、志木市環境推進課のご指導もいただいて、添付のような「ルール再確認シート」をまとめました。同シートは町内会ホームページ(→)にも載せていますので、必要の都度、いつでもご覧いただくことができます。



<ルール理解の不統一が懸念されるポイント例>

1. 可燃ごみ用ネットの扱い

カラスに荒らされている場面を多々見かけます。気がついた方が掃除してくださっているのは誠にありがたい限りですが、そもそもネットをごみの下側へ押し入れれば解決できる問題です。ネットの端が重いことに油断せず、あとからごみ出しした人も必ずネット端を押し込みましょう。

2. 資源プラスチックの出し方

右の写真はお隣・富士見市で見かけた事例で、不適切な出し方をしたものが回収されずに残されていました。資源プラは自宅でまとめた袋から出し、バラ状態を出すルールであり、これは富士見に限らず志木もまったく同じです。中身がわからないものは回収ができないので、必ずバラシて出しましょう。



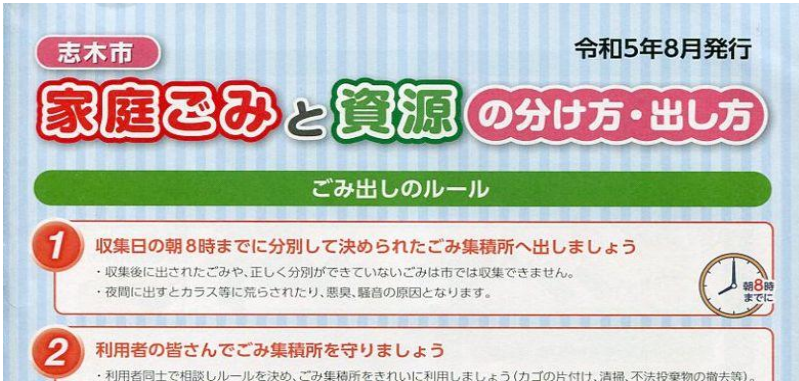
などなど、ルールをきちんと守っている人にとっては「言わずもがな」のことで、肝心なのは班として町内会として地域として統一できていることです。お互いが注意し合い、これからも皆さんの力でより快適な柳瀬川町内会(域)を築いて参りましょう。

以上

正しく守ろう ごみ・資源出しルール

作成：柳瀬川町内会

監修：志木市環境推進課



ごみと資源の出し方について、志木市にはA4・12ページの詳しいルールブック（左写真）があります。柳瀬川駅前の出張所でも入手できます。そこにあるルールを踏まえた上で、当町内会でまだ徹底されていないごみと資源の出し方について、このページでそれを再確認します。

正しくない出し方をすると、集積所付近が汚くなったり（可燃ごみの袋がカラスに破られ、中身が散

乱するのが代表例）、処理担当者さん（収集メンバーやセンターの係員）の手が余計にかかります。

彼らに面倒をかけることは業務効率の低下を招き、コストが増加し、ひいては私たちの税金がそこに余分に使われてしまいます。

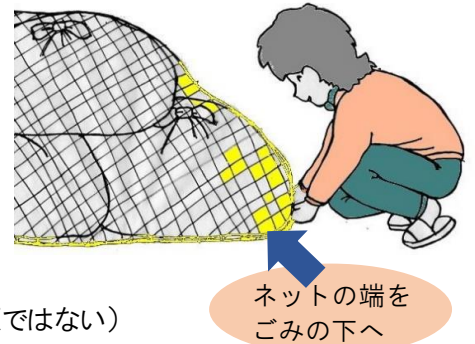
私たち一人ひとりの手で、気持ちが良いくて低コストのごみ・資源収集環境を作りましょう。

曜日別・注意すべきポイント

火曜・金曜

可燃ごみ

1. 可燃ごみはカラスよけネットですっかりくるむ
2. 可燃ごみを入れる袋は中が見えるよう、半透明までにする（黒や濃い白はダメ）
3. 生ごみはできるだけ水気を切る（新聞紙でくるむのも可）
4. レシート（感熱紙）は可燃ごみに（リサイクル資源ではない）



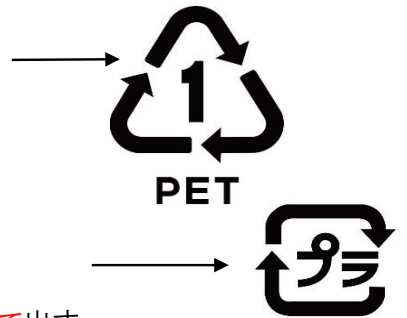
ワンポイント解説：可燃ごみ用の黄色いネットの端には重い綱がついています。しかし、これを被せただけではすぐにごみ袋が露出してカラスがごみ袋をはじくります。綱は常にごみの下に入れ込みましょう。

水曜

リサイクル資源

ペットボトル

1. ラベルにPETマークがあるボトルだけ（透明であってもプラスチック指定のものあり）
2. キャップははずし、資源プラ（木曜）へ
3. つぶして出す（容積を小さくする）
4. ラベル（プラマークあり）は資源プラ（木曜）
5. ミネラルウォーター以外のボトルは軽く洗って出す



ビン・スプレー缶

1. スプレー缶は瓶のコンテナ（黄色）へ
2. スプレー缶は完全に使い切ってあれば穴をあけなくても可
3. 割れた瓶は透明袋に入れて瓶と同じ扱い（割れた皿やコップは不燃ごみ）
4. 瓶のキャップははずして不燃ごみ（ラベルははがさなくて可）

缶

中を洗って（食品カスを残さない）、できるだけつぶして出す

ごみではなくて

資源 です！

紙類

1. 段ボールは平らにして(箱はつぶして)紐で縛る(十字がけがベター)
※ 粘着テープで束ねてはダメ
2. 厚手のボール紙は段ボールと一緒にOK
3. 内側がアルミ貼りの紙パックは資源ではなく可燃ごみ

布類

次の人が着られると判断したらリサイクル、無理なら可燃ごみ

ワンポイント解説：リサイクル資源はごみではありません。文字どおりもう一回使うものなので、それなりにきれいな状態で出さなくては、収集側の手数がとても増えてしまいます。

木曜

資源プラスチック

1. 中を確認できるよう、自宅で溜めていた袋から出してバラでネットへ
2. 内側がアルミ蒸着(銀色)のプラ袋はOK(昔はダメだったのが変更)
3. 食品トレーや弁当パックは軽く洗って出す(食品カスを残さない)
4. プラマークありのボトル(洗剤など)は軽くすすいで中身を残さない
5. 発泡スチロールは資源プラではなく可燃ゴミ

ワンポイント解説：資源プラスチックの黄色い網袋は、本来なら臭くなるはずがありません。ご自分がごみ当番になったときに嫌な思いをせずに運べるよう、みんなで「再生しやすいリサイクル資源」を出しましょう。

第2・第4木曜

不燃ごみ

1. 傘は骨だけにして出す(布地は可燃ごみ、透明ビニールは資源プラスチック)
2. リチウムイオン電池 ⇒ 出してはダメ(購入先または回収協力店へ)
3. ボタン電池 ⇒ 出してはダメ(購入先または回収協力店へ)

※ 乾電池ではない上記2種の電池は市では回収できません。購入先で引き取ってもらうのが原則でも、引き取らない店もあるし、ネット購入した場合はそれも困難です。

そのため、これらの電池は回収協力店に引き取ってもらいます。志木市は次の3店です。☆ サンドラッグ志木(本町6-22-45・ベルモ内) ☆ ビバホーム志木店(柏町1-6-75) ☆ メガネ パリ ミキ 志木店(本町5-18-17) なお、新座市にはなりますがケースデンキ新座店(新座市中野2-2-39)はあまりむずかしいことを言わず、とても愛想良く引き取ってくれるので、買い物ついでにレジカウンターにお願いすることをお勧めします。